

こどもの居場所の 未来を語ろう

～こども食堂から考える～



こども食堂や無料塾の利用増で、ボランティアを超えた専門的な支援の必要性が高まっています。地域に居場所があることで救われる子どもがいる一方、運営には様々な課題も。2025年春、「こども食堂」の名づけ親である近藤博子さんは、「『こども食堂』の大きな流れからは一線を引く」とSNSに投稿しました。私たちはどのような未来を実現したいのか本質に迫ります。

近藤さんを取材し記事にしたライター杉山春さんとの対談の実現！



2/7
(土)

10:00～12:00

飯田橋セントラルプラザ12階

近藤 博子さん

一般社団法人ともしひatだんだん
島根県生まれ。歯科衛生士として仕事を続ける。2008年気まぐれ八百屋だんだんをスタート。だんだん寺子屋なども開催。2012年こども食堂スタート
2015年こども笑顔ミーティング実行委員会代表として活動を始める
2022年6人の異なる活動をするメンバーとファーストリーーチプロジェクトを立ち上げ、だれもが助け合うことのできる地域つくりをめざした活動開始。
大田区母子保健推進協議会委員
支援の輪プロジェクト委員
学校地域連絡協議会委員

杉山 春さん

ライター・一般社団法人てとてと
東京都生まれ。児童虐待、家族問題、ひきこもり、自死などについて取材・執筆。
著書に『ネグレクト 真奈ちゃんはなぜ死んだか』（小学館文庫 小学館ノンフィクション大賞受賞）『移民環流』（新潮社）
『ルポ虐待：大阪二児置き去り死事件』（ちくま新書）、『家族幻想 ひきこもりから問う』（ちくま新書）『児童虐待から考える 社会は家族に何を強いてきたか』（朝日新聞出版）など。
2018年から神奈川県相模原市内の公設団地の集会所で、仲間と一緒に子どもの居場所の運営を行なっている。

定員 30人
オンライン 20人

■ 日時・会場・参加費

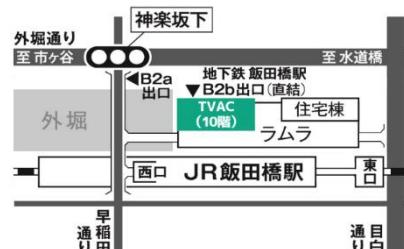
- 分科会名：「子どもの居場所」の未来を語ろう！～子ども食堂から考える～
- 日 時：2026年2月7日(土) 10:00～12:00
- 参加方法：飯田橋セントラルプラザ12階・会議室CD
- 定 員：会場30名 オンライン20名



■ 市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKYO 2026について

「分科会2:「子どもの居場所」の未来を語ろう！～子ども食堂から考える～」はく市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2026の分科会の一つです。このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、私たちに何ができるのかと一緒に考えていきます。今年のテーマは「これからを変える、挑戦を。～Action&Imagination～」です。みなさまのご参加をお待ちしています。

- 開催期間 2026年2月7日(土)～8日(日)
- 会 場 飯田橋セントラルプラザ・オンライン(Zoom)・ほか
- 参 加 費 1分科会1,000円
会場参加・フィールドワークの3分科会以上は3,000円(オンラインへの変更不可)
*学生(専門学校含む)または18歳未満の方は無料
- 企 画 ボランタリーフォーラム TOKYO2026 実行委員会
- 主 催 東京ボランティア・市民活動センター
- ア クセス JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手
地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・
大江戸線 飯田橋駅 B2b出口



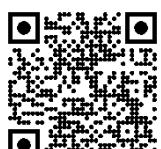
■ 参加申し込み方法

- 「分科会2:「子どもの居場所」の未来を語ろう！～子ども食堂から考える～」への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。(同時にほかの分科会への参加も申し込むことができます)
- 参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。
- ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。

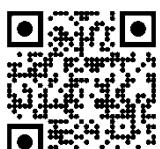


[お問い合わせ・お申し込み先] 東京ボランティア・市民活動センター 山添・高橋・杉山・吉田
〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階
TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 HP <https://www.tvac.or.jp/vf/>

Facebook



X(旧 Twitter)



Instagram



YouTube

